

表-3 五畿内におけるキリシタンの受容

西暦(年)	年月日	亭主	客	茶席	特記事項	出典(頁)
1548	天文17年12月				『天王寺屋會記』自會記、他会記始まる	7、8
1549	天文18年6月24日		・三好長慶、「江口の戦い」で管領細川政権を打ち、三好政権確立。畿内全域、丹波、東播、四国東部を支配。			10 (47)
1550	天文18年7月22日		・フランシスコ・ザビエル 鹿児島上陸		◆日本布教長 (五畿内滞在期間) 初代 フランシスコ・ザビエル (1550年) 2代 コズメ・デ・トルレス (五畿内訪問なし) 3代 フランシスコ・カブラル* (1571~1574年) * : 巡察師ヴァリニャーノの日本適応主義に反対、辞任	2 (33)
	天文19年12月上旬		・フランシスコ・ザビエル 堺港上陸(12月17日:平戸発)			2 (33)
	天文19年12月中旬		・フランシスコ・ザビエル 都着			2 (33)
	天文19年12月下旬		・フランシスコ・ザビエル 都発 (滞在11日間)			2 (33)
1551	天文20年1月上旬		・フランシスコ・ザビエル 堺発 (2月上旬:平戸着)			2 (33)
1557	弘治3年7月		・三好長慶、大林宗套を開基として南宗寺を建立、父・三好元長の菩提を弔う。堺を三好政権の精神的な中核に据える。			10 (262)
1559	永禄2年9月18日		・ガスバル・ヴィレラ 堺港上陸 航海中に受洗したウルスラの親戚ソウゼン宅宿泊。滞在3日。			17 (44)
	永禄2年9月22日		・ヴィレラ、近江国・坂本着、比叡山、近江国・永原、青蓮院→都・妙覚寺にて足利義輝拝謁、都での布教を断念。			17 (49)
1561	永禄4年8月		・ヴィレラ、堺着、日比屋了珪邸に宿泊、了珪の好意で布教活動拠点とする。了珪の子ども達受洗。			17 (141)
1563	永禄6年		・ヴィレラ、日比屋了珪授洗、以後自宅2階を教会として提供し、堺キリシタン宗門の柱であった。			17 (141)
	永禄6年6月27日		・ヴィレラ、河内国・飯盛山城訪問。三好家の家臣・結城山城守、清原枝賢受洗、三好家家臣に影響、73名受洗。			17 (170)
1564	永禄7年6月		・修道士・ロレンソ、大和・沢城に赴き高山飛驒守、右近ほか家族が受洗。家臣150名受洗			17 (186)
	永禄7年7月4日		・三好長慶、河内国・飯盛山城で病死、以後三好三人衆(三好長逸、三好政康、岩成り友通)と松永久秀が支配			17 (237)
	永禄7年12月25日		・ルイス・フロイス、ルイス・デ・アルメイダ堺港着、日比屋了珪の歓迎を受ける。アルメイダ病氣療養、25日滞在。			17 (216)
	永禄8年1月1日		・フロイス、都到着。ヴィレラと再会。将軍・足利義輝への年賀挨拶準備。			17 (224)
1565	永禄8年1月19日		・アルメイダ、病気が癒え、ヴィレラに会うため出立に際して、茶室や茶道具を見学し、日比屋了珪のもてなしを受ける。			17 (268)
	永禄8年4月6日		・アルメイダ、沢城に高山ダリオを訪ね1週間滞在。ダリオは几帳面な性格の人。			17 (298)
	永禄8年4月16日		・アルメイダ、堺を出帆し豊後へ			17 (307)
	永禄8年5月19日		・三好三人衆・松永久秀 足利義輝襲撃(永禄の変)。正親町天皇伴天連京都追放令。ヴィレラ、フロイス堺へ逃避。			18 (8)
1566	永禄9年4月11日		・ヴィレラ豊後へ、フロイス堺に残る。聴聞者は絶えないが、他郷の人々で、堺の人々ではない。堺の人は能力がない。			18 (36)
1568	永禄11年9月		・織田信長、足利義昭を奉載して上洛。第十五代足利義昭誕生。信長、交易拠点・堺と近江草津の代官を許される。			11 (212)
	永禄12年1月6日		・三好三人衆、山城国・桂川にて足利義昭軍・織田信長軍に敗れる。信長、堺衆に矢銭2万貫を課す。			11 (213)
1569	永禄12年2月11日		・堺衆、織田信長に降伏、矢銭2万貫支払う。上使衆(佐久間衛門、柴田勝家、和田惟政、ほか)が堺を接收。			7 (140)
	永禄12年3月11日		・フロイス、信長の上使衆・和田惟政の勧めで都へ。途中、老キリシタン・ソーイアンタン宅に120日間滞在。茶室を見る。			18 (142)
	永禄12年3月13日		・フロイス、高槻城主・和田惟政の案内で織田信長に接見。			18 (150)
	永禄12年4月8日		・織田信長、フロイスにキリシタン布教允許状を渡す。			18 (159)
	永禄12年4月18日		・フロイス、ロレンソ、織田信長と約300人聴衆の面前にて法華宗・朝山日乗上人との宗論に勝つ			18 (171)
1571	元龜2年9月12日		・織田信長、比叡山焼き討ち			18 (112)
1573	元龜4年3月11日		・高山右近、高槻城主となる。撰津国主・荒木村重の家臣。			18 (278)
	天正元年7月		・織田信長、第15代将軍・足利義昭を追放、室町幕府滅亡			9 (228)
1574	天正2年5月7日	了珪	春溪、新太、宗及	日比屋了珪	入道雲の釣物、藤こぶなりの五徳使用	8 (197)
	天正2年8月		・カブラル、フロイス、ロレンソ高槻城訪問。右近に改めて教理を説く。卓抜な説教者でキリシタンの柱となった。			18 (317)
1575	天正3年7月27日朝	宗礼	松井有閑、宗及	日比屋宗礼	了珪長女モニカ婿(了珪の妻の弟)	8 (203)
	天正3年8月10日朝	宗及	ひひや了珪、宗礼	宗及		7 (220)
1577	天正5年		・ロドリゲス来日。豊後で活動。1580年12月イエズス会入会、1596年マカオで司祭習得、8月13日司祭として再来日			19 (110)
	天正5年12月6日晚	右近	宗易、宗及	高槻城	右近、村重から贈られた鴈、狸、炭を土産とする	8 (270)
1579	天正7年5月27日		・安土・浄厳院にて織田信長の命で浄土宗の僧貞安・靈誉と法華僧の日珙・日誦・日淵宗論。法華宗が負け処罰を受ける。			20 (82)
1580	天正8年4月9日		・オルガンチーノ、織田信長より安土修道院・神学校建設用地を受け、1階に茶室と和室を併設して建設。			20 (14)
	天正8年8月5日夜	宗及	高山右近、下石彦衛門	宗及		7 (340)
1581	天正9年2月13日		・巡察師・バリニャーノ、堺に上陸、日比屋了珪もてなす。結城ジョアン弥平次、池田シメアン丹後守出迎える。			20 (94)
	天正9年2月15日		・バリニャーノ、堺出発、河内国・飯盛山城、岡山城、17日高槻城(22日感謝祭に2万人以上参加)、23日都へ			20 (99)
	天正9年2月25日		・バリニャーノ、織田信長に拝謁			20 (105)
	天正9年2月28日		・バリニャーノ、織田信長に馬揃え(都)に招かれる。3月14日安土、4月23日高槻、			20 (105)
	天正9年5~8月		・バリニャーノ、五畿内巡察、安土で神学校開校、イエズス会宣教師会議『礼法指針』(茶室を規定)			20 (105)
1582	天正10年10月15日		・豊臣秀吉、大徳寺にて織田信長の葬儀を主宰。高山右近は参列したが、教理に従い拝礼しなかった。			21 (344)
1583	天正11年1月6日朝	右近	宗及、宗撈	高槻城		8 (382)
	天正11年12月3日朝	宗及	高山右近	宗及	一人訪問、南坊(南蛮坊主)と号す	7 (438)
1584	天正12年		・高山右近、牧村長兵衛(利休七哲)をキリシタン受洗させる。			21 (123)
	天正12年10月15日	秀吉	配下の武将、堺衆 29名	大坂城内	膠着状態にあった小牧・長久手の戦いへの協力要請	8 (405)
	天正12年12月14日朝	宗及	右近(南坊)、多新左	宗及		7 (450)
1585	天正13年		・高山右近、小西行長、蒲生氏郷(利休七哲)、黒田官兵、播磨国・三木城主3人をキリシタン受洗させる。			21 (187)
	天正13年8月22日		・豊臣秀吉、高山右近に明石城への国替え命令(秀吉、撰津国の直接支配を狙う)			21 (227)
1586	天正14年5月4日		・豊臣秀吉、「関白(秀吉)殿許可状」の写し発行し、伴天連の居住、寺院義務の免除、布教を保証。			21 (222)
	天正14年10月	右近	関白、利休	高山右近	日比屋了珪への法外課徴金救済を直訴。秀吉断る。	21 (239)
1587	天正15年6月19日		・豊臣秀吉、伴天連追放布告朱印状発令。高山右近改易(領地、地位没収)			21 (338)
1588	天正16年		高山右近、加賀藩・前田利家に家臣として迎えられ祿を得る。茶の湯を教え、北条氏討伐にも参戦し功績挙げた。			19 (166)
1591	天正19年2月8日		・秀吉、遣欧使節に謁見(公子4名、バリニャーノほか13名、公子従者7名、通訳(ロドリゲス、フェルナンデス)計26名)			19 (92)
	天正19年2月28日		・利休、聚楽屋敷にて切腹。辞世句「提ル(ひつさぐ)我得具足の太刀 今此時ぞ天に抛つ(なげうつ)」			9 (761)
1592	文禄元年12月26日	関白	前田利家、右近、宗湛	名護屋城	右近の追放の身分を解除し、茶の湯に招待した。	19 (167)